

(様式 7)

記入例

(排出事業者用)
〇〇年〇月△△日

長野県知事 様

令和 4 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	〇〇年度から〇〇年度	
会社名	〇〇建設株式会社	
住所	〒380-8570 長野市大字南長野〇〇	
代表者名	代表取締役 〇〇〇〇	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
	〇〇中間処理場	長野市大字南長野〇〇
担当部署	〇〇部〇〇課	
担当者名	課長 〇〇〇〇	
連絡先	TEL	026-123-4567
	FAX	026-765-4321
	電子メールアドレス	nnnnnnn@aaabbb.ne.jp
ホームページアドレス	http:// www.absdefg.co.jp	

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	4年度目標値	4年度実績値	3年度実績値	2年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	2,230	2,200	2,300	2,400
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	2,100	2,050	2,000	2,000
売上高の推移 (円)	830,000,000	820,000,000	800,000,000	800,000,000

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

○工場加工（組み立て）製品使用率を前年度より5%向上させ、現場での廃棄物発生抑制を図った。また、発生端材を再利用したリサイクル製品の研究開発も進めた。

資材について、可能なものについては近隣の現場で共同発注を行い、梱包材の発生抑制に努めた。

○コンクリート塊は現場内へ移動式破砕機などを導入し、極力現場内利用率を向上させ、現場外への搬出を抑制した。

建設汚泥の再利用率向上に向け、埋戻し材、盛立て材としての利用のに向けた研究開発を△△社と共同で進め、国土交通省の新技术情報提供システムに登録した。

現場毎の処理状況掲示板とともに、付近住民からの意見箱を設け、住民意見を反映して、処理体制の随時見直しを図った。

排出量抑制のため、現場毎の単位当たり排出量を公表し、また、優秀な実績を残した現場の責任者を表彰するなどして、排出抑制に向けた社員一人一人の努力意識の形成と向上を図った。

エコアクション21の認証を取得し、ながのエコ・サークル（ゴールドランク）の認定を得た。

令和4年度に電子マニフェストを導入し、適正処理を推進するとともに、事務処理の効率化を図った。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（%）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（%）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	4年度 目標値	4年度 実績値	3年度 実績値	2年度 実績値
インターロッキング ブロック	50	50	30	40
擬木	20	15	15	10
パーティクルボ ード	70	60	50	55
埋戻し材	50	50	45	40
全 体	45	40	42	40